

analog

2021
WINTER
vol. 70

Phile
web

LP全盛時代の優秀録音盤
お宝レコード

美しきメカニクス

憧れのトーンアーム

アナログ入門者におくる
**セッティング・
バイブル**

話題の作曲家
はいしまくにあき
**麓島邦明の
カートリッジ選び**



英国コード・カンパニーより「グラウンドアレイ」に続く第2弾

“ノイズ・ポンプ”の電源用 「パワーアレイ」が誕生

英国コード・カンパニーより昨年秋に登場した「グラウンドアレイ」。空き端子にさすだけで、機器内部のノイズを吸引する“ノイズ・ポンプ”として大ヒットを続ける同アイテム。その物語には続きがあった。電源コンセントの空き端子が残っていたのだ。今年秋、同社から新バージョンとなる電源用モデル「PowerARAY(パワーアレイ)」が登場した。その絶大な効果は早くも認められるところとなり、本年度の「オーディオアクセサリ銘機賞2021」では最高峰の“グランプリ”を獲得している。昨年度の「グラウンドアレイ」の受賞に続き2年連続の快挙である。そこで本誌では初の紹介となる「パワーアレイ」。その実力を鈴木 裕氏が、生形三郎氏は注目のスイッチングバブ「8スイッチ」も含めて、その魅力を体験している。

Text by

鈴木 裕

Yutaka Suzuki

Photo by 田代法生



THE CHORD COMPANY PowerARAY

電源用ノイズ対策アイテム

PA-3(3ピンタイプ)＝¥120,000(税別)

PA-2(2ピンタイプ)＝¥120,000(税別)

●用法：①壁の空きコンセントにさす②電源タップで使用する場合、最も上流側の電源ソケットにさす●取り扱い：アンダンテラルゴ株

相当強力に見通しが開ける
比較しなくても明確な効果

イギリスのケーブルメーカー、コード・カンパニー。そのオーディオアクセサリの最新作が「パワーアレイ」だ。壁コンセントの空いているところや、電源タップのもっとも上流側の口に挿して使う。その効果を簡潔にまとめると、再生音から高周波のノイズをリジエクト。音が混濁する要素や付帯音、スモークキーで見通しの悪い感じを相当強力になくしてくれる。2つ目はスピーカーから音が出ていない感じが強くなり、立体的なサウンドステージ、立体的な音像が見えてくる。3番目はそれとも関係するが低音の風圧のような感じが出たり、虚ろではない低音感が得られる点。

そして特筆しておかなければいけないのは、こうした働きの結果としての再生音。これが人工的な音色感にならず、ナチュラルである点だ。

個人的な体験談を書かせてもらいたい。筆者はクラシック音楽のソフトを紹介する雑誌でそれぞれのソフトの録音を評価する仕事をしている。10月の下旬、



「パワーアレイ」の効果を自宅試聴室で体験中の鈴木 裕氏

この仕事のために拙宅のオーディオシステムでその録音評の対象となるCDなどを聴き出した。1枚目、とてもいい。このレーベルのマルチマイクの録音って、こんなに細部の混濁がなかったかと。2枚目、とてもいい。ワンプointステレオ録音によるものだが、かなり素晴らしい。3枚目、さらにいい。なんだこの低音の吹き出してくるような、空気が動くような感じは……。そこでハタと気づいた。そうだが、「パワーアレイ」を使い出していたのだった。忙しくてそのことを忘れていたのだ。そこであらためて自分の基準となるク



「パワーアレイ」は電源タップの上流側に設置。今回2個使いを体験。さらなる相乗効果を引き出すことが確認できた

さて、今回のミッションのひとつは「パワーアレイ」はシステムの上流にひとつあればいいのか？ 複数あっても効果的か？ ということを明確にしてみよう。ただし拙宅の電源経路は壁コンセントから2つの電源タップにわかれている。ひとつがプリアンプ、フォノイコライザー、

「パワーアレイ」の複数使いは確実に相乗効果を発揮する

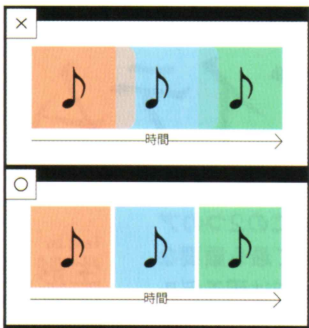
ラシックのソフトを数枚聴いたり、「パワーアレイ」をいったん取り外して、システムの音を客観的に把握した。何かと比較しなくても明確にわかるくらい効果のあるアクセサリーであり、自然な効き方をする。

● アンダンテラルゴより

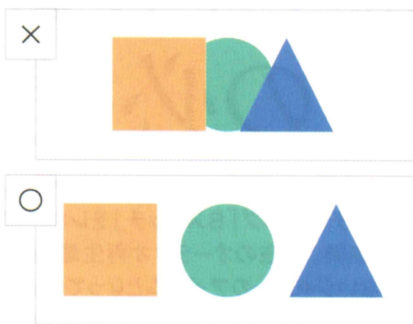
高周波ノイズとはどんなもの？ 悪影響があると言われるながらも実態を感じるわけでもない、スルーしているオーディオファンも多いことでしょう。ラジオ放送のノイズやフォノイコライザー等から聞こえるノイズとは全く異なり、聴感上これという形で聞こえるものではありません。では何がどのような風に影響されているのでしょうか？ 強いて言うなら、滑らかで味わい深いお料理に極めて微かな塵が混入したようなものです。あなたのオーディオから聞こえるサウンドにはこの塵が混入し、音を濁らせてはいませんか？

CDプレーヤーという3つのコンポーネントに給電。もうひとつのタップからはDAコンバーターの電源を取っている。「パワーアレイ」はもともと前者の電源ボックスの上流側にさしていたが、ここ以後者のDAコンバーターを給電しているタップの上流側にも装着してみた。その結果は、再生音はさらに有機的になり、最初に書いたような効果もそれぞれに感じつつ、総合的に鳴りっぷりのいい印象になった。ここでも明確な効果があった。この結果からすると、システムに2つ以上の「パワーアレイ」を投入するのは有効である。「グラウンドアレイ」と併用するとどうなるか？ とい

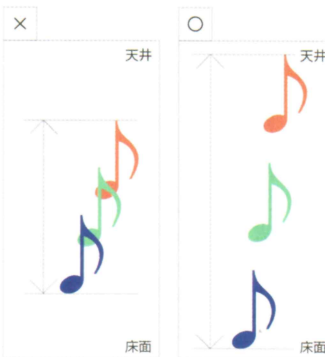
アンダンテラルゴが提唱する「良い音」を判定するスケール



②「一音一音」のセパレーション



①「楽器と楽器」のセパレーション



③「高い音と低い音」のセパレーション

う興味もあるのだが、テストとしてそのレポートは複雑になるのでまたの機会に譲りたい。3つのスケールの提言で自身のシステムを見直そう

- ①「楽器と楽器」のセパレーション
 - ②「一音一音」のセパレーション
 - ③「高い音と低い音」のセパレーション
- 最後にもしも聴きどころがわからないという方には、アンダンテラルゴのウェブサイトに掲載されている「音質評価スケール」のポイントに着目してほしい。3つ挙げられている。
- ①は音像の分離がいいこと。②は時間軸方向において、きちんと音が立ち上がり、同時に妙な響きが残らない要素。そして③は低音は低い位置に、高音は高い位置から聴こえてくるというメソッドだ。そういう観点からご自身のオーディオシステムの音を見直してみたい。もし、問題を感じるのであれば、「パワーアレイ」あるいは「グラウンドアレイ」によって改善する割合は間違いなく大きい。



THE CHORD COMPANY PowerARRAY

電源用ノイズ対策アイテム

PA-3(3ピンタイプ)＝¥120,000(税別)

PA-2(2ピンタイプ)＝¥120,000(税別)

●使用方法：①壁の空きコンセントにさす②電源タップで使用する場合、最も上流側の電源ソケットにさす●取り扱い：アンダンテラルゴ(株)

English Electric 8Switch

スイッチングハブ ¥98,000(税別)

※LANケーブル「C-Stream」(0.75m)が1本付属

Specifications

●対応イーサネット：100/1000 Base-T●ポート数：8ポート●高精度TCXOクロック技術搭載●筐体：アルミニウム●ACアダプター：5V対応の医療用グレード●サイズ：152W×83D×35Hmm●質量：422g●取り扱い：アンダンテラルゴ(株)

英国コード・カンパニーの最高技術“アレイ・テクノロジー”の結晶

万全の高周波ノイズ対策が導く 現代オーディオの必携アイテム

前頁の鈴木 裕氏のレポートに続き、生形三郎氏が登場。英国コード・カンパニーの新アイテム「パワーアレイ」とともに同社のサブブランドであるEnglish Electricのスイッチングハブ「8スイッチ」をレポートする。この2つのアイテムは同社の最高技術である“アレイ・テクノロジー”を踏襲。現在のオーディオ再生環境において最も重要な要素である高周波ノイズ対策にとって、欠かすことのできないジャンルのアイテムとなっている。本項では両モデルの効果を筆者の自宅システムとコード・カンパニーの製品を取り扱うアンダンテラルゴの試聴室にて体験している。

Text by
生形三郎
Saburo Ubukata

Photo by 田代法生

●「パワーアレイ」
演奏の意図を余すことなく生む
特別な存在のケーブルブランド

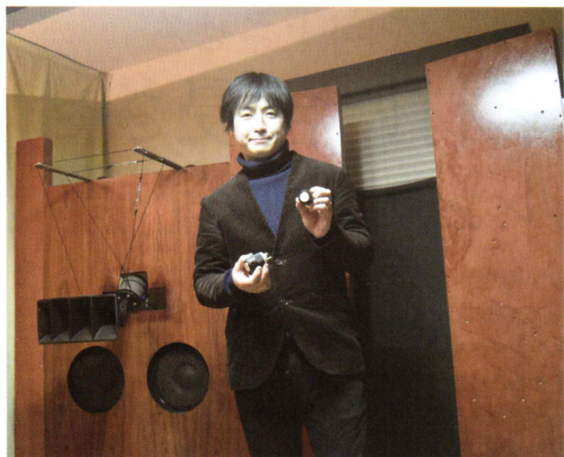
英国コード・カンパニーのケーブルは、特別な存在だと思っ取り立てて重厚な作りでもないし、一目見て何か派手な仕掛けも見当たらない。それどころか、実にシンプルな外観で取り回しも軽やかながらも、そこから出てくるサウンドは、この上なく饒舌で、たおやかだ。そして何よりも、その美しさによって、再生する音楽や演奏の意図を決して変えてしまうことがないところが素敵だ。

その秘訣は数多くあると推察するが、そのうちの一つは、同社のアレイ・テクノロジーにあると言えそう。これは、信号アースライン上の高周波ノイズを特殊素子へと導き熱へと変換、消去する高周波対策技術で、同社のフラッグシップケーブルへの搭載を発端に培われてきたものである。今回の新製品「パワーアレイ」では、コンセントプラグの、ホット、コールド、そしてグラウンド(3ピンモデルの場合)の、それぞれに対して実装されているという。ほかに

も、同社こだわりのタイロン絶縁システムや、音質だけでなく安全性にも配慮した多層シールドなどが施されているが、その効用はさすがコード・カンパニーの製品である。

戸惑うほどの効果の大きさ 簡単に理想の音質が得られる

「パワーアレイ」は空きコンセントにさすだけで、S/N感が向上し、システムが持っていた能力やサウンドキヤクターがより十全に発揮されるようになる。総じて、出音から歪み感が減り、音楽が実に快く身体へと浸透してくるような変化が得ら



アンダンテラルゴの試験室にて「パワーアレイ」と「8スイッチ」の効果を確認する生形三郎氏



「8スイッチ」のACアダプターの極性方向による音質への影響もテスト。向きによって音の出方が違いが出た。アダプターの「W」の表示が必ずコールド側になるように接続してほしい(電源コンセントのホット/コールドを確認するには検電ドライバーを1本持っていると便利)

れる。演奏のフレーズングが鮮明になり、低域から高域まで、帯域を問わず音の彫りが深くなるイメージだ。音楽が、より生き生きと、より瑞々しいサウンドへと変化するのである。初めて自宅環境で使用した際は、その効果の大きさに戸惑ってしまった。副作用無しに、いとも簡単に理想的なサウンドが得られてしまったからだ。

また、アンダンテラルゴの試験室でもその効果を試聴した。コンポごとに異なるプレーカーから電源ラインを引き込む配慮がなされていたが、それでも「パワーアレイ」の効果は大きかつ

た。この結果からは、電源自体の歪みやその他の要因だけでなく、コンポ自身から放出される要素がシステムに悪影響を与えている場合も多いのではないかと、ということも推察できた。とりわけ、ノイズがいつそう抑えられ、楽音の背景に存在していた細やかな音、弦楽器であれば弓を動かすような音や奏者の微細なプレスなど、その場の雰囲気や生々しい臨場感が出てくることに驚かされたのである。

●「8スイッチ」

徹底した高周波ノイズ対策と 高性能クロックを採用する

さらに注目の新製品は、同社のサブブランドから登場したスイッチングハブ「8スイッチ」である。ネットワーク再生において、スイッチングハブを用いて音質向上を図るという手法は今や定石であるが、未だにオーディオ向け製品は少ない。そして、

それらは中々手が出にくい高価格であったりもする。その中で登場したこの「8スイッチ」は、10万円を切る価格のオーディオ用ハブとして高い実力を備えており、画期的な存在といえる。

S/N感が圧倒的に向上し 音の輪郭を鮮明に描写する

徹底した高周波ノイズ対策や高性能クロックを採用したというこのハブの導入で得られる効用は、やはりS/N感の圧倒的な向上と、歪み感が抑えられること、そして、定位方向の盤石化などが挙げられる。とりわけ、音像がはつきりとした輪郭で鮮明に眼前へと描かれる様が爽快である。なお、ハブのACアダプターの極性方向による音質への影響もテストしてみたが、やはり向きによって音の出方に違いが出た。音の立ち上がり方やその質感に変化が生まれ、極性を必ず合わせることは、ぜひとも見逃せないポイントと言えそ

うだ。

試聴は、NASに保存したデータのネットワーク再生とともに、各種ストリーミングサービスの再生でも試したが、いずれの再生でも同様の効果を実感することが出来た。また、言わずもがな、ネットワークハブと各機器を接続するLANケーブルをグレードアップすることで、さらなる音質向上を確認できたことも付け加えておきたい。

以上のように、「パワーアレイ」と「8スイッチ」は、オーディオ再生において、いかにノイズ対策が重要であるかを痛感させてくれるものである。そして、両製品は、単なる性能の高さだけでなく、費用対効果としても極めて優位性の高いプロダクトであると感じざるを得なかった。実際に筆者は、両者が既に手放せない存在となってしまう。掛け値なしに、ぜひとも一度お試し頂きたい製品である。

「ノイズ対策の重要性を痛感させてくれる 「パワーアレイ」と「8スイッチ」の存在